

2023年9月17-18日 奥利根 檜俣川本流

メンバー：L石原、野中、村中

前日に少量の雨が降ったようだが、予報は概ね晴れのため予定とおりの計画を実施した。

初日（9月16日）、林道を2時間ほど歩きヘイズル沢出合で入渓した。おそらく例年に比べて水量は少ないのだろう。渓の側面に残る跡から推測すると20cmほど水面は低かった。

ナメ滝、ゴルジュ、大小の滝を繰り返し、飽きのこない景色が続く。一部腰上まで浸かる場所もあったが、気温が高かったため体が濡れてもむしろ丁度よい体感温度であった。

危険箇所はほとんどない。入渓3時間地点に滝（日崎沢との合流点）を左岸から巻く斜面にトラロープがかかる。時間に余裕があったためそこでは携行したロープを出して登攀訓練を行った。日崎沢を越えて1時間程度の地点を幕営地とした。水場から2m登った左岸で、タープを張り、焚き火をするにも十分なスペースがあった。

翌日（9月18日）は5時に起床し、幕営地に荷物をデポして南沢の出合までピストン。荷物を撤収してから2時間半で狩小屋沢の出合で脱渓した。そこから林道を3時間歩き駐車場に到着した。

【コースタイム・天候】

2日間とも天候は薄く雲がかかることはあったが概ね晴れ。

9月17日（1日目）

檜俣ダム林道ゲート7:30→ヘイズル沢出合で入渓9:20→入渓3時間地点の滝（日崎沢との合流点）でロープを使用した登攀12:30→日崎沢を超えた地点で幕営地を決定13:30

9月18日（2日目）

幕営地6:20→南沢出合7:15→幕営地8:00→狩小屋沢出合で脱渓10:30→檜俣ダム林道ゲート13:20



